



件名	相原地域福祉作業所新築に伴い地質調査委託		
場所	東京都町田市相原町2983-157		
図面名	調査地点位置図		
縮尺	1 / 200	図面番号	920210
調査年月	平成 4 年 11 月		
	[Redacted]		

# ボーリング柱状図

調査名 相原地域福祉作業所新築に伴う地質調査委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo. 92210-A

ボーリング名	No. A	調査位置	東京都町田市相原町2983-157	北緯	
発注機関	町田市役所 福祉部	調査期間	平成 4年11月 6日 ~ 4年11月 7日	東経	
孔口標高	KBM +0.958m	角	180° 上 90°	方	北 270° 西 180° 南
総掘進長	23.29m	度	90°	地盤公配	30° 90°

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験	原位置試験	試験採取	室内試験	掘進月日
	0.36	0.80	0.60		盛土	茶褐色			ローンを材質とし、0.2mに乗石入り、全体に軟らかい。					
1					ローム	茶褐色		硬	0.6mで地山、所々に粒状の浮石混入する。 下部に移行するに従い砂質ロームとする。 2.0m付近、極めて粘着力強い。	1.15 3 4 6 13/30				
2								硬	2.0m付近、極めて粘着力強い。	1.45 3 4 6 13/30				
3	-1.74	2.10	2.70					硬	2.0m付近、極めて粘着力強い。	2.15 8 8 6 22/30				
4								硬	2.0m付近、極めて粘着力強い。	2.45 2 2 2 6/30				
5								中位	上部にスコリア混入する。 4.0m以深、火山灰砂を含む。	3.15 2 2 2 6/30				
6								中位	7.0m付近に繊維質有機物を希に混入する。 粘着力大。	3.45 3 2 3 8/30				
7								中位	8.0m以深、粘性を伴う。	4.15 3 2 3 8/30				
8								中位	9.0m付近、若干の含水有り。	4.45 3 3 2 8/30				
9								中位	9.0m付近、若干の含水有り。	5.15 3 3 2 8/30				
10								中位	9.0m付近、若干の含水有り。	5.45 2 1 3 6/33				
11	-9.84	8.10	10.80					硬	分級、粘土化する。所々に有機物混入する。	6.15 2 1 3 6/33				
12	-10.34	0.50	11.30					硬	スコリア混入する。 12.40m付近、色調の変化顕著に見られる。	6.48 4 5 4 13/30				
13	-12.84	2.50	13.80					中位	13.20mに70mm位の、淡灰色の微粒砂を挟む。	7.15 4 5 4 13/30				
14	-13.64	0.80	14.80					中位	粒子は不均一である。部分的に岩塊状で固結する。	7.45 1 1 1 3/31				
15	-14.34	0.70	15.30					中位	粘性乏しい。希に炭化物を混入する。	8.15 1/14 1/7 2/13 4/34				
16	-14.84	0.50	15.80					中位	φ30mm~φ40mm位の亜円礫を混入する。 上部は粘土で充填されるも15.4mより中砂共存する。 15.60mに70mm径の円礫、中砂と共存する。	8.49 1/11 1 1 3/31				
17	-15.44	0.80	16.40					中位	硬砂岩または、ホルムフェリス類の塊りである。	9.15 1/11 1 1 3/31				
18								中位	洪積層の砂、全体に粘土分有し、粒子は均一である。	9.46 2/12 2/9 3/11 7/31				
19								中位	洪積層の砂、全体に粘土分有し、粒子は均一である。	10.15 2/12 2/9 3/11 7/31				
20	-19.19	3.75	20.15					中位	洪積層の砂、全体に粘土分有し、粒子は均一である。	10.46 2/12 2/9 3/11 7/31				
21	-19.94	0.75	20.90					中位	φ20mm~50mmの円礫共存する。	11.15 3 4 3 10/30				
22								中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	11.45 3 4 3 10/30				
23	-22.33	2.39	23.29					中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	12.15 2 3 3 8/30				
24								中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	12.45 1 2 2 5/30				
								中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	13.15 1 2 2 5/30				
								中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	13.45 10 7 8 25/30				
								中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	14.15 10 7 8 25/30				
								中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	14.45 3 9 22 34/30				
								中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	15.15 3 9 22 34/30				
								中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	15.45 50/2 50/2				
								中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	16.00 50/2 50/2				
								中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	16.02 50/2 50/2				
								中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	17.15 7 8 10 25/30				
								中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	17.45 18 20 12 50/25				
								中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	18.15 18 20 12 50/25				
								中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	18.40 18 18 16 50/30				
								中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	19.15 18 18 16 50/30				
								中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	19.45 50/8 50/8				
								中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	20.15 50/8 50/8				
								中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	20.23 39 11 50/12				
								中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	21.15 39 11 50/12				
								中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	21.27 50 50/10				
								中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	22.15 50 50/10				
								中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	22.25 50 50/10				
								中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	23.15 50/14 50/14				
								中位	上部、粒子不均一である。若干の粘土分含む。 23m付近 薄層で固結粘土を挟む 下部、粒子均一である。	23.29 50/14 50/14				

# ボーリング柱状図

調査名 相原地域福祉作業所新築に伴う地質調査委託

ボーリングNo.   

事業・工事名

シートNo. 92210-B

ボーリング名	N o . B	調査位置	東京都町田市相原町2983-157	北緯	
発注機関	町田市役所 福祉部	調査期間	平成 4年11月 7日 ~ 4年11月 7日	東経	
孔口標高	KBM +0.952m	角度	180° ↑ 90°	方 向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総掘進長	10.45m	地盤勾配	鉛直 90°	水平	0°

標尺 (m)	層高 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	標準貫入試験			原位置試験 深 度 (m)	試験名 および結果	採取 深 度 (m)	採取 番号	室内試験 ( )	掘進 月 日	
									深 度 (m)	10cmごの 打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)							N 値
1	-0.85	1.80	1.80	ローム	暗灰・暗茶褐色	中位		0.20~0.27mでは、暗灰色細砂を伴。0.70mより、やや硬くなり、含水量は少なくなる。粘性弱い。	1.15	1	2	4	3.9					
2									1.46									
3									2.15	2	3	7	5.8					
4									2.51									
5									3.30	2	4	13	13					
6									3.80									
7									4.15	1	2	6	6					
8									4.45									
9									5.15	1	2	6	5.8					
10	-9.50	8.65	10.45						5.48									
11									6.15	3	3	10	10					
									6.45									
									7.15	1	1	3	3					
									7.45									
									8.15	1	2	5	4.8					
									8.46									
									9.15	1	1	2	1.7					
									9.51	2	1	5						
									10.15	1	1	4	4					
									10.45	1	1	4						